

令和 2 年度

大阪府後期高齢者医療広域連合
一般会計・後期高齢者医療特別会計
決算審査意見書

大阪府後期高齢者医療広域連合監査委員

大 広 監 第 2 6 号
令和3年10月1日

大阪府後期高齢者医療広域連合長
野田 義和 様

大阪府後期高齢者医療広域連合
監査委員 中川 元
監査委員 谷口 美保子

令和2年度大阪府後期高齢者医療広域連合一般会計・
後期高齢者医療特別会計決算審査意見について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第2項の規定により審査に付された令和2年度大阪府後期高齢者医療広域連合一般会計・後期高齢者医療特別会計決算書及び証書類その他政令で定める書類を審査した結果について、次のとおり意見を提出する。

第 1	審査の対象	1
第 2	審査の期間	1
第 3	審査の方法	1
第 4	審査の結果	1
第 5	審査の概要	2
第 6	実質収支に関する調書	8
第 7	財産に関する調書	8
第 8	意見	10
	一般・特別会計決算審査資料	11

(注) 各図表中に用いる金額は原則として表示単位未満を四捨五入している。
 比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入している。
 したがって、合計と内訳の計が一致しない場合等がある。

第1 審査の対象

令和2年度大阪府後期高齢者医療広域連合一般会計・後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

第2 審査の期間

令和3年8月1日から同年9月30日まで

第3 審査の方法

審査に当たっては、会計管理者から提出された歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書等に基づき、決算計数の確認を行うとともに、予算が適正に執行されているかについて、例月現金出納検査の結果等を参考に、必要に応じて担当職員の説明を聴取するなどして審査を実施した。

第4 審査の結果

令和2年度一般会計・後期高齢者医療特別会計の決算について審査した結果、決算計数は、関係諸帳簿及び証書類と符合して正確であり、予算は適正に執行されていると認めた。

第5 審査の概要

1 決算の概要

(単位：百万円、%)

	令和2年度	令和元年度	増減	(比率)
歳入	1,227,474	1,218,566	8,908	0.7
一般会計	198	203	△5	△2.5
特別会計	1,227,276	1,218,363	8,913	0.7
歳出	1,165,539	1,197,622	△32,083	△2.7
一般会計	183	189	△6	△3.2
特別会計	1,165,356	1,197,433	△32,077	△2.7
形式収支	61,935	20,944	40,991	195.7
翌年度繰越額	0	0	0	—
実質収支	61,935	20,944	40,991	195.7

歳入決算額 1兆2,274億7,400万円

歳出決算額 1兆1,655億3,900万円

決算額は前年比で、歳入額89億800万円(0.7%)の増、歳出額320億8,300万円(2.7%)の減であった。

一般会計と後期高齢者医療特別会計を合わせた歳入歳出差引額(形式収支)及び実質収支は619億3,500万円の黒字となっている。

この中には前年度の繰越額209億4,400万円が含まれており、これを差し引いた単年度収支は409億9,100万円の黒字となっている。

2 一般会計

(単位：百万円、%)

	令和2年度	令和元年度	増減	(比率)
予算現額	198	203	△5	△2.5
歳入	198	203	△5	△2.5
収入率	100.0	100.0	0ポイント	—
歳出	183	189	△6	△3.2
支出率	92.4	93.1	△0.7ポイント	—
形式収支	15	14	1	7.1
翌年度繰越額	0	0	0	—
実質収支	15	14	1	7.1

- ・一般会計の決算額は、歳入1億9,800万円、歳出1億8,300万円で、予算現額に対する比率は、歳入100.0%、歳出92.4%となっている。
- ・前年度比で、歳入500万円(2.5%)の減、歳出600万円(3.2%)の減となっている。
- ・形式収支及び実質収支は1,500万円の黒字、単年度収支は100万円の黒字となっている。

(1) 歳入

(単位：百万円、%)

	令和2年度	令和元年度	増減	(比率)
調定額	198	203	△5	△2.5
収入済額	198	203	△5	△2.5
収入率	100.0	100.0	0ポイント	—
不納欠損額	0	0	0	—
収入未済額	0	0	0	—

- ・収入済額は1億9,800万円で、収入率は100.0%となっている。
- ・前年度比で、収入済額は500万円(2.5%)の減となっている。

○分担金及び負担金(市町村負担金)は400万円の減

○繰越金等は100万円の減

- ・繰越金は、歳出(総務費)の財源に充て、歳入(市町村負担金)を減額している。

(2) 歳出

(単位：百万円、%)

	令和2年度	令和元年度	増減	(比率)
予算現額	198	203	△5	△2.5
支出済額	183	189	△6	△3.2
執行率	92.4	93.1	△0.7ポイント	—
不用額	15	14	1	7.1

- ・ 支出済額は1億8,300万円で、執行率は92.4%となっている。
- ・ 前年度比で、支出済額は600万円(3.2%)の減となっている。

○総務費は600万円の減

(予備費)

- ・ 予備費から400万円を充用し、診療報酬返還金回収にかかる訴訟終結に伴う弁護士費用の支払いに充てている。

(不用額)

- ・ 不用額は1,500万円で、前年度比で100万円(7.1%)の増となっている。
- ・ 内訳は、総務費等が1,500万円となっている。

3 後期高齢者医療特別会計

(単位：百万円、%)

	令和2年度	令和元年度	増減	(比率)
予算現額	1,218,115	1,214,095	4,020	0.3
歳入	1,227,276	1,218,363	8,913	0.7
収入率	100.8	100.4	0.4ポイント	—
歳出	1,165,356	1,197,433	△32,077	△2.7
支出率	95.7	98.6	△2.9ポイント	—
形式収支	61,920	20,930	40,990	195.8
翌年度繰越額	0	0	0	—
実質収支	61,920	20,930	40,990	195.8

- ・後期高齢者医療特別会計の決算額は、歳入1兆2,272億7,600万円、歳出1兆1,653億5,600万円で、予算現額に対する比率は、歳入100.8%、歳出95.7%となっている。
- ・前年度比で、歳入89億1,300万円(0.7%)の増、歳出320億7,700万円(2.7%)の減となっている。
- ・形式収支及び実質収支は619億2,000万円の黒字、単年度収支は409億9,000万円の黒字となっている。

(1) 歳入

(単位：百万円、%)

	令和2年度	令和元年度	増減	(比率)
調定額	1,228,169	1,219,396	8,773	0.7
収入済額	1,227,276	1,218,363	8,913	0.7
収入率	99.9	99.9	0ポイント	—
不納欠損額	129	5	124	—
収入未済額	764	1,028	△264	△25.7

- ・調定額は1兆2,281億6,900万円、収入済額は1兆2,272億7,600万円で、収入率は99.9%となっている。
- ・前年度比で、調定額は87億7,300万円(0.7%)、収入済額は89億1,300万円(0.7%)の増となっている。

- 市町村支出金は 102 億 5,300 万円の増
 - ・事務費負担金が 400 万円の減、保険料等負担金が 91 億 7,200 万円の増、療養給付費負担金が 10 億 8,500 万円の増となっている。
- 国庫支出金は 146 億 400 万円の増
 - ・療養給付費負担金が 124 億 9,500 万円の増、高額医療費負担金が 5 億 7,400 万円の増、調整交付金が 39 億 3,500 万円の増、臨時特例交付金が 25 億円の減、その他補助金が 1 億円の増となっている。
- 府支出金は 7 億 7,500 万円の増
 - ・療養給付費負担金が 2 億 200 万円の増、高額医療費負担金が 5 億 7,300 万円の増となっている。
- 支払基金交付金は 82 億 6,200 万円の減
- 特別高額医療費共同事業交付金は 1 億 3,900 万円の増
- 財産収入は 100 万円の増
- 繰入金は 14 億 4,500 万円の増
 - ・令和 2 年度及び 3 年度の保険料改定にあたり、保険料激変緩和のために 85 億円を、医療給付費準備基金より繰り入れている。
- 繰越金は 100 億 2,100 万円の減
 - ・繰越金は、過大に交付された負担金等の償還に充てた後、残額は医療給付費準備基金に積み立てを行い、保険給付費の財源としている。
- 諸収入は 2,100 万円の減
 - ・預金利子が 1,500 万円の増、第三者納付金が 7,400 万円の減、返納金等が 3,800 万円の増となっている。

(不納欠損)

- ・不当利得のうち、資格喪失後受診及び負担割合差額にかかる返還金について、国より時効管理の考え方が示されたことに伴い、平成 30 年度より不納欠損処理を行っている。
- ・また、医療機関等への診療報酬にかかる返還金債権についても整理を進め、破産手続が終了した債権についても令和 2 年度より、不納欠損処理を行っている。
- ・不納欠損額は 1 億 2,900 万円で、内訳は概ね返納金となっている。

(収入未済額)

- ・収入未済額は 7 億 6,400 万円で、前年度比で 2 億 6,400 万円 (25.7%) の減となっている。
- ・内訳は、返納金が 7 億 5,100 万円、加算金が 1,300 万円となっている。

(2) 歳出

(単位：百万円、%)

	令和2年度	令和元年度	増減	(比率)
予算現額	1,218,115	1,214,095	4,020	0.3
支出済額	1,165,356	1,197,433	△32,077	△2.7
執行率	95.7	98.6	△2.9ポイント	—
不用額	52,759	16,662	36,097	216.6

- ・支出済額は1兆1,653億5,600万円で、執行率は95.7%となっている。
- ・前年度比で、支出済額は320億7,700万円(2.7%)の減となっている。

○総務費は4,300万円の減

- ・一般管理費が5,100万円の増、電子計算費9,400万円の減となっている。

○保険給付費は224億100万円の減

- ・療養給付費等が232億3,100万円の減、高額療養費等が7億4,200万円の増、葬祭費等が8,800万円の増となっている。

○特別高額医療費共同事業拠出金は1億3,700万円の増

○保健事業費は4億5,600万円の減

- ・健康診査費等が5億500万円の減、保健・介護予防の一体的実施事業費が4,900万円の新規増。

○基金積立金は6億1,400万円の減

○諸支出金は87億円の減

(予備費)

- ・予備費から400万円を充用し、新型コロナウイルス感染症に係る傷病手当金の支給に充てている。

(不用額)

- ・不用額は527億5,900万円で、前年度比で360億9,700万円(216.6%)の増となっている。
- ・内訳は、総務費が1億5,400万円、保険給付費が515億2,500万円、特別高額医療費共同事業拠出金が2,200万円、保健事業費が10億4,700万円、予備費が1,100万円となっている。

第6 実質収支に関する調書

決算書及び関係帳簿と照合したところ、計数は正確であると認められた。

第7 財産に関する調書

① 物 品

備品台帳等と照合したところ、計数が正確であることが認められた。

区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増減高		決算年度末 現在高
		(増) 台	(減) 台	
液晶テレビ	1 台	0 台	0 台	1 台
パーソナルコンピュータ	13	0	0	13
電話交換機	1	0	0	1
金庫	1	0	0	1
財務・給与システムソフトウェア	5	0	0	5
財務・給与システムサーバー式	1	0	0	1
電算処理システム用APサーバー式	1	0	0	1
サーバラック	34	0	0	34
ビデオカメラ	2	0	0	2
プロジェクター	1	0	0	1
インテリジェントスイッチ	1	0	0	1
サーバ室エアコン	2	0	0	2
スライド収納式書庫	1	0	0	1

(取得価格1品10万円以上)

②基金

医療給付費準備基金については、財政の健全な運営を図り、医療給付等に要する費用の財源に充てることを目的に設置している。

決算年度中の増減は42億7,646万4千円の減で、これは保険給付費に係る基金への積み立て及び令和2年度及び3年度の保険料改定にあたり、保険料激変緩和のための基金の取り崩しによるものである。

(後期高齢者医療給付費準備基金)

(単位：千円)

区 分	前 年 度 末 現 在 高	決 算 年 度 中 増 減 高	決 算 年 度 末 現 在 高
現 金	13,478,136	△4,276,464	9,201,672

第 8 意 見

(1) 確認した事実等

- ・大阪府内の後期高齢者医療制度の被保険者数は、令和 3 年 4 月現在、約 118 万人で、平成 20 年の制度施行時と比較して約 46 万人増加し、1.6 倍以上の伸びとなっている。
- ・保険料収納率は、収納対策の取組みの強化等により、令和 2 年度は 99.47% となり、前年度比で 0.11 ポイント上昇している。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響による、医療機関の受診控えに伴い、療養給付費が大幅減となっている。
- ・医療給付の返還金等について、医療機関に対する国の調査等が強化されたことによる高額な返納額の発生などにより、約 7 億 6,000 万円の収入未済額が生じている。
- ・被保険者の健康を保持増進し医療費適正化を図るため、令和 2 年度から市町村と連携した高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施に取り組みはじめたほか、健康診査、ジェネリック医薬品利用促進等の事業を実施している。
- ・健康診査の令和 2 年度受診率は 19.42% で、新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度比で 4.28 ポイント低下している。
- ・同じく歯科健康診査の令和 2 年度受診率は 11.78% で、新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度比で 3.11 ポイント低下している。

(2) 意 見

- ・今後も高齢化の進展に伴い被保険者数は増加すると見込まれることから、引き続き、事務処理の効率的な執行に努めるとともに、国、府及び市町村と連携し、制度の安定した運営に取り組まれない。
- ・広域連合においては、市町村の保険料収納対策の支援等により、さらなる保険料収入の確保に努められたい。
- ・医療機関等への診療報酬に係る債権については、債権管理条例の趣旨を踏まえ、適切な債権管理及び回収に努められたい。
- ・被保険者の負担軽減及び医療費適正化を推進するため、ジェネリック医薬品利用促進をさらに推し進められたい。
- ・令和 2 年度から開始した高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について、初年度の実施状況等を踏まえ、更に市町村と連携を図りながら取組みを推進されたい。

一般・後期高齢者医療特別会計決算審査資料

別表第1	一般会計款別歳入歳出決算状況	1 2
別表第2	後期高齢者医療特別会計款別歳入歳出決算状況	1 4

【歳入（一般会計）】

	予算現額 (A)		調定額 (B)		調定率 (B/A)	収入済額 (C)	
		構成比		構成比			構成比
分担金及び負担金	181,523	91.6	181,523	91.7	100.0	181,523	91.7
国庫支出金	2,767	1.4	2,584	1.3	93.4	2,584	1.3
寄付金	1	0.0	0	—	—	0	—
繰越金	13,728	6.9	13,728	6.9	100.0	13,728	6.9
諸収入	121	0.1	35	0.0	28.9	35	0.0
	198,140	100.0	197,870	100.0	99.9	197,870	100.0

【歳出（一般会計）】

	予算現額 (A)		支出済額 (B)		予算執行率 (B/A)
		構成比		構成比	
議会費	1,579	0.8	1,440	0.8	91.2
総務費	195,730	98.8	181,841	99.2	92.9
予備費	809	0.4	0	—	0.0
諸支出金	22	0.0	22	0.0	100.0
	198,140	100.0	183,303	100.0	92.5

入 歳 出 決 算 状 況

(単位：千円、%)

予算執行率 (C/A)	収入率 (C/B)	不納欠損額 (D)	収入未済額 (E)		未収率 (E/B)	前年度 収入済額 (F)	増減 (C-F)
				構成比			
100.0	100.0	0	0	—	—	185,151	△ 3,628
93.4	100.0	0	0	—	—	1,803	781
—	—	0	0	—	—	0	0
100.0	100.0	0	0	—	—	15,510	△ 1,782
28.9	100.0	0	0	—	—	41	△ 6
99.9	100.0	0	0	—	—	202,505	△ 4,635

不用額 (C)	構成比	不用額比率 (C/A)	前年度 支出済額 (D)	増減 (B-D)
13,889	93.6	7.1	187,503	△ 5,662
809	5.5	100.0	0	0
0	0.0	0.0	0	22
14,837	100.0	7.5	188,777	△ 5,474

【歳入（後期高齢者医療特別会計）】

	予算現額 (A)		調定額 (B)		調定率 (B/A)	収入済額 (C)	
		構成比		構成比			構成比
市町村支出金	222,863,556	18.3	223,265,544	18.2	100.2	223,265,544	18.2
国庫支出金	375,117,116	30.8	399,893,414	32.6	106.6	399,893,414	32.6
府支出金	99,199,190	8.1	98,302,011	8.0	99.1	98,302,011	8.0
支払基金交付金	489,300,825	40.2	474,361,936	38.6	96.9	474,361,936	38.7
特別高額医療費 共同事業交付金	648,143	0.1	621,591	0.1	95.9	621,591	0.1
財産収入	3,730	0.0	3,730	0.0	100.0	3,730	0.0
寄附金	1	0.0	0	—	—	0	—
繰入金	8,500,000	0.7	8,500,000	0.7	100.0	8,500,000	0.7
繰越金	20,929,595	1.7	20,929,595	1.7	100.0	20,929,595	1.7
諸収入	1,552,995	0.1	2,291,090	0.2	147.5	1,398,443	0.1
	1,218,115,151	100.0	1,228,168,911	100.0	100.8	1,227,276,264	100.0

【歳出（後期高齢者医療特別会計）】

	予算現額 (A)		支出済額 (B)		予算執行率 (B/A)
		構成比		構成比	
総務費	2,765,126	0.2	2,611,497	0.2	94.4
保険給付費	1,189,196,478	97.6	1,137,670,792	97.6	95.7
特別高額医療費 共同事業拠出金	648,739	0.1	627,344	0.1	96.7
保健事業費	4,151,900	0.3	3,105,362	0.3	74.8
基金積立金	4,223,536	0.3	4,223,536	0.4	100.0
諸支出金	17,118,553	1.4	17,117,613	1.5	100.0
予備費	10,819	0.0	0	—	—
	1,218,115,151	100.0	1,165,356,144	100.0	95.7

款別歳入歳出決算状況

(単位：千円、%)

予算執行率 (C/A)	収入率 (C/B)	不納欠損額 (D)	収入未済額 (E)	構成比	未収率 (E/B)	前年度 収入済額 (F)	増減 (C-F)
106.6	100.0	0	0	—	—	385,289,335	14,604,079
99.1	100.0	0	0	—	—	97,527,100	774,911
96.9	100.0	0	0	—	—	482,624,016	△ 8,262,080
95.9	100.0	0	0	—	—	482,717	138,874
100.0	100.0	0	0	—	—	2,969	761
—	—	0	0	—	—	0	0
100.0	100.0	0	0	—	—	7,055,070	1,444,930
100.0	100.0	0	0	—	—	30,950,436	△ 10,020,841
90.0	61.0	128,831	763,816	100.0	33.3	1,419,010	△ 20,567
100.8	99.9	128,831	763,816	100.0	0.1	1,218,362,816	8,913,448

不用額 (C)	構成比	不用額比率 (C/A)	前年度 支出済額 (D)	増減 (B-D)
51,525,686	97.7	4.3	1,160,072,186	△ 22,401,394
21,395	0.0	3.3	489,477	137,867
1,046,538	2.0	25.2	3,561,311	△ 455,949
0	—	—	4,837,371	△ 613,835
940	0.0	0.0	25,817,928	△ 8,700,315
10,819	0.0	100.0	0	0
52,759,007	100.0	4.3	1,197,433,221	△ 32,077,077